



認定看護師だより



認知症の人との関わり方 ~ユマニチュードとは~

認知症看護認定看護師 篁 薫

ユマニチュードとはフランス語で「人間らしさを取り戻す」という意味を持つ造語です。

今回は、人間がもともと持っている能力をできる限り引き出すケアの基本姿勢、「見る」「話す」「触れる」「立つ」の基本的な4つのアクションをご紹介します。



患者を「見る」

相手の目線と同じ高さから見ることで、敵ではなく大事な人だと相手に伝えることができる。

患者と「話す」

相手に対して親愛の気持ちを持った存在であることを伝えます。

患者に「触れる」

なるべく広い面積を触ることで、患者の負担を軽減できます。

患者が「立つ」

一日20分程度でも立つ時間を作ることで、寝たきり状態を防ぐことになります。

ユマニチュードの効果は人によって差はあります。しかし認知症の人の尊厳を守り、尊重することで一定の効果をあげることができます。

ケア行う人は、「あなたは大切な存在です」という心からのメッセージを相手に発信し続けることが重要です。

BVMの正しい使用方法

救急看護認定看護師 東海林 美貴

【JRC 蘇生ガイドライン】では「全ての状況においてCPR中にBVM換気あるいは高度な気道確保を行う事を提案する。」また「高濃度酸素投与が必須で、可能な限り最大の濃度で酸素投与を行う。」とされています。



BVMは蘇生現場において看護師が使用できる重要なデバイスです。正しい方法で使用しましょう。

- BVMを酸素流量計に繋ぎ高濃度の酸素を流す。
- リザーバが膨らんでいるか、破損がないか確認する。
- 気道確保を行う。
- マスクを正しい位置（細くなっている方が鼻側）で顔に密着させる。
- 換気は1回1秒で胸が軽く上がる程度にバッグを押す。（入れすぎ※過換気に注意）
- 胸骨圧迫と換気は30：2で同期させて行う。

●●緊急時すぐに使用できるよう、毎週水曜のチェックをお願いします●●